

ナカラ回廊農業開発におけるコミュニティレベル開発モデル策定プロジェクト

本プロジェクトでは、地域の実情に応じた効果的な農業開発のモデルを確立し、農業生産の向上を行うことを目指しています。

現在、6年間のプロジェクトの3年目に入ったところであり、モザンビーク側関係機関の能力強化、人材育成を進めるとともに、農業開発モデルの確立に向けたトライアルを進めています。農業開発モデル確立にかかる進捗は以下の通りです。

モデル1：コミュニティ支援モデル

目的	プロジェクト実施期間を通じて、対象郡において、対象コミュニティ内で公的普及サービスを受ける零細農家の割合を増加させることを目指すもの
対象	コミュニティグループ（20名）と女性グループ（10名）が対象 ナンブラ州：5コミュニティ、ニアッサ州：2コミュニティ
主な活動	1) 対象コミュニティの選定 2) コミュニティの意向・ニーズが、郡レベルの普及計画に反映されるコミュニケーションメカニズムの構築 3) コミュニティ内の対象農家に対して普及サービスが行き渡るような新たな普及サービス方法の提案 4) 対象グループが共同活動の重要性と便益を認識できる環境の整備 5) コミュニティレベルでの生計向上を促進する普及サービスの構築

<事業進捗>

	項目	投入量	投入日	受け入れ側	補記
研修	IIAMとDPASAによるファシリテーター（普及員）のトレーニング	2日	3月15日	ナンブラ州 SDAE 普及員	参加者6名（男性5人、女性1人）
	SDAE 普及員によるトレーニングを通じたキーファーマーの能力向上	2日	3月15日	ナンブラ州 モデル1のキーファーマー	参加者5名（男性4人、女性1人）
	ジェンダー及び家族予算編成に関する研修	3日	2015年4月、5月	ナンブラ州グループコミュニティメンバー	参加者58名（男性28人、女性30人）

これまでに設置した展示圃場

	コミュニティ	作物	展示区画 (CDR)	レプリカ	CDRにおける収量 (kg/ha)
ナンブラ州	Rapale 郡	ラッカセイ	1	2	875kg/ha
		メイズ	2	2	6月収穫
	Rapale 郡	ラッカセイ	1	3	875kg/ha
		キャッサバ	1	0	9月収穫
		コメ	2	2	2250 kg/ha
	Mecuburi 郡	ラッカセイ)	2	8	1000 kg/ha
		キャッサバ	1	0	9月収穫
		メイズ	1	2	2500 kg/ha
	Muecate 郡	ラッカセイ	1	3	1000 kg/ha
		キャッサバ	1	0	9月収穫
		メイズ	1	2	6月収穫
	Muecate 郡	ラッカセイ	1	1	1125 kg/ha
ササゲマメ		1	2	6月収穫	
メイズ		1	2	2500 kg/ha	
ニアッサ州	Mandinba 郡	トマト	1	7	9月収穫
		タマネギ	1	8	9月収穫
		キャベツ	1	2	9月収穫
	Mandinba 郡	トマト	1	8	9月収穫
		タマネギ	1	12	9月収穫
合計			22	66	

モデル2：アソシエーション支援モデル

目的	プロジェクト実施期間を通じて、対象郡において、アソシエーションの支援モデルの確立を目指すもの
対象	各アソシエーションメンバー（15-30名程度） ナンブラ州：1フォーラム参加の2アソシエーション、ニアッサ州：2フォーラム傘下の4アソシエーション
主な活動	1) 対象グループの選定 2) ベースライン調査の実施、作付計画の策定 3) 活動記録、帳簿作成 4) 対象グループによる市場情報の提供体制の構築支援 5) 活動モニタリング

<事業進捗>

1) ナンブラ州

	投入	収穫
2014年 乾期第1作	タマネギ 1ha×2組織 肥料・農薬（種子は自家採取のものを使用）（無償） 2組織に対してポンプ1台（有償）	0.4ha1260kg 0.6ha1530kg
	留意点：一つは共同農地への参加者が集まらず作付面積が計画に至らなかった。	

	投入	収穫
	もう一方はプロジェクトに無断で重力灌漑に変えたため、面積が減少した。	
2014年 乾期第2作	両組織の意向により、2014年は乾期作は1回のみで終わった。アソシエーションの組織強化にかかる活動を進めた。	
2014/2015 年雨期作	ササゲ0.25ha、メイズ0.25ha 資材は無償供与	収穫量を調査中
	留意点：両組織の組織強化と栽培技術の向上を図る目的で展示圃場を設置した。栽培技術の向上を目的としており、収穫した種子はアソシエーションのメンバーに配布することとしている。	
2015年 乾期第1作	タマネギ2ha、タマネギ1ha	作付中
	留意点：組織強化の効果で2haの作付に必要な20名の共同作業が実現する	

2) ニアッサ州①

	投入	収穫
2014年 乾期第1作	0.25ha×ジャガイモ等4作物×2組織 種子・肥料・農薬（無償） 2組織に対してポンプ1台（有償）	ジャガイモ0.25ha2.5ton、トマト0.25ha3.0ton、ニンジン0.25ha0.15ton ジャガイモ1ha7.6ton
	留意点：タマネギ、トマト・ニンジン・タマネギともに栽培適期と労働力の制約から栽培時期を雨期直前にずらす、種子の保管が悪く発芽しないものもあった。収量・収益ともに当初の予想を下回ったものの、両組織で約33万円の収益が確保された。面積を各アソシエーション毎2haに増やすことにより収益は倍増するため、今後の返済計画の見通しがついた。しかし、得られた収益のほとんどはメンバー間で分配された（1名当たり約1万円の分配額）。	
2014年 乾期第2作	両組織の意向により、2014年は乾期作は1回のみで終わった。 アソシエーションの組織強化にかかる活動を進めた。	
2014/2015 年雨期作	2組織でジャガイモ1.25ha他6作物計 6.5ha 資材は無償供与	ジャガイモ1.25ha1.3ton、キャベツ0.5ha1.7ton、 2.75haのインゲンマメ、タマネギ、メイズなどが病気で収穫量を大幅に減らした。
	留意点：農民の希望により難しい雨期の野菜栽培に挑戦するが、多雨の影響で病気が蔓延し、多くの作物が被害を受けた。	
2015年乾期 第1作	ジャガイモ他4作物 資材は有償供与	作付中
	留意点：今作から肥料・種子などの農業資材も有償供与とした。	

3) ニアッサ州②

	投入	収穫
2015年乾 期第1作	キャベツタマネギ・トマト1ha×2組織 種子・肥料・農薬（無償） 2組織に対してDPAからポンプ1台ずつ有償で供与した。	作付中

モデル3：協同組合支援モデル、

目的	プロジェクト実施期間を通じて、対象郡における、既存の農協と、農協へと地位を高めることを希望する農民組織を支援するためのモデルが作成される。
対象	ナンプラ州：2協同組合

主な活動	1) 対象グループの選定 2) ベースライン調査の実施、作付計画の策定 3) 活動内容の決定 4) マーケティング・付加価値活動にかかる事業計画立案等の講習会や研修 5) マーケティング支援 6) 農協化支援（登録支援、講習）
------	--

<事業進捗>

分類	品目・活動	投入量	年月	注釈
研修	アグリビジネスワークショップ	2日	2014年9月	各組織10名程度参加
	製粉生産計画ワークショップ	1日	2015年5月	各組織5-10名程度参加
資機材	ラッカセイ殻剥機修理	1技師 3日間	2014年9-10月	既存の機材活用支援の継続
	プラスチック袋の閉口機 工業規格の重量計	1式	2015年6月	
農協登録 支援	登録手続き支援	1式	2015年3月進行 中	
その他	売店建屋内部の電化工事、電気の引き込み工事	1式	2015年5月-6月	
	ラッカセイ買取業者との関係強化支援		2015年3月-5月	

アグリビジネスワークショップの参加者による評価

質問	解答
質問1：あなたは本研修プログラム全体に満足しましたか？	
1) 大変満足	1) 8
2) 普通	2) 1
3) 満足していない	3) 0
質問2：本研修に期間ついて、2日間の日程は十分でしたか？	
1) 十分	1) 5
2) 長すぎる	2) 2
3) 短すぎる	3) 1
質問3：どの研修項目が最も良かったですか？（複数回答可）	
1) 法的制約	1) 3
2) バリューチェーン	2) 4
3) 雇用と契約	3) 2
4) 会計	4) 6
質問4：もしチャンスがあれば、（今回の研修のほか）学びたい科目はありますか？（複数回答可）	
1) マーケティング	1) 5
2) ラッカセイなど、農業製品加工の新技术	2) 1
3) 融資（ローン申請の方法）	3) 3
4) 新規ビジネス	4) 2
5) その他：科目を記載してください	5) 0
6) これ以上は必要ない	6) 0

モデル4：契約栽培モデル

目的	プロジェクト実施期間を通じて、対象郡における、契約栽培を通じた農業生産の増大を目指す。
対象	ナカラ回廊地域の4つの農業企業と、1つのフォーラム
主な活動	1) DIFパイロット事業企画・選定・実施支援 2) 対象企業の事業モニタリング 3) DIFパイロット事業の評価

<事業進捗>

事業	内容	
普及員の技術指導	SDAE 普及員に対するアウトグロアースキームにかかる技術、営農指導	
ワークショップ/ 調査	アソシエーション、フォーラム、コミュニティの150以上の小規模農家に対する契約栽培の機能と役割について説明	
モニタリング	SDAEの支援と関与を得るように郡SDAEの普及員による活動を実施	
プロセス(実施時期)	活動	関係者
商業取引モニタリング (2014年8-10月)	1. 生産、買取の商業取引計画 2. 契約企業毎の企業プロセスの検証 3. 農家サイドの意見フィードバック記録 4. 企業の契約履行状況チェック	DPASA、SDAE、 GAPI、PEM
契約栽培ワークショップ (2014年11月-2015年1月)	5. DPASAにおけるC/Pとの年間活動計画協議 6. 農家に対する契約栽培の契約内容説明	DPASA、SDAE、 GAPI、契約農家、 PEM
オブザベーション・プロット 設定 (2015年1月-2月)	7. 選定基準に基づきオブザベーション・プロット設定 企業及びSDAEとの協議 8. 栽培、普及サービスの定期モニタリング実施	SDAE、企業、契約 農家、PEM、
年間サーベイ (2015年2月-4月)	9. 契約栽培事業の状況確認(2-4月) 10. ヒアリング対象農家は昨年と同じ農家を前提とする 11. (昨年度契約栽培農家が契約外となった場合新規契約栽培農家を追加)	DPASA、SDAE、企 業、契約農家、 PEM、
SDAE 普及員モニタリング指 導 (2014年8月-2015年4月)	12. トレーニングパッケージの充実(手法、教材) 13. SDAE職員への契約栽培の説明 14. 企業側とSDAE側の契約栽培内容協議 15. SDAE技術普及員の契約栽培農家のモニタリング実施	DPASA、SDAE、企 業、契約農家、 PEM、

モデル5：バリューチェーン構築モデル

目的	プロジェクト実施期間を通じて、ProSAVANA-PEMが支援する団体が位置する地方自治体において、アグリビジネス、特にバリューチェーンと呼ばれる下流のアグリビジネスが活性化される。
対象	ザンベジア州の1農民組織、ナンプラ州の1農民組織
主な活動	<ol style="list-style-type: none"> 1) ワークショップの実施 2) 事業計画策定支援 3) 農協登録手続き支援 4) バリューチェーン構築にかかる事業実施支援 5) 事業モニタリング

<事業進捗>

年/月	活動	対象・参加者
2014年9月	アグリビジネスワークショップ	対象農民組織、SDAE 普及員
2014年9月	事業計画にかかる協議	対象農民組織、SDAE 普及員
2014年12月	農協登録にかかる手続き	対象農民組織
2015年1月 - 6月	リボルビングファンドの条件と活動とにかかる協議	対象農民組織、SDAE 普及員
2015年2月	対象農民組織のベースライン調査	対象農民組織
2015年2月	導入機械の技術的協議	対象農民組織
2015年3月 - 5月	対象農民組織によるメイズ粒と粉の買取業者訪問、買取業者特定	対象農民組織
2015年4月 - 5月	対象農民組織による既存の製粉業者訪問	対象農民組織
2015年4月 - 5月	事業計画の策定（ワークショップ）	対象農民組織、SDAE 普及員
2015年5月	機械に関する技術的協議	対象農民組織
2015年5月 - 6月	OJT	対象農民組織
2015年5月 - 6月	機材の設置	対象農民組織
2015年6月	メイズ粉の生産開始	対象農民組織